

書塾の仲間たち

第 259 回

書道教室かなで組（東京都江戸川区）



●書塾からひとこと●

東京都江戸川区で開講しました当教室は、中学生以下を中心とした書道教室で、今年で9年目を迎えました。コロナ禍も工夫をして教室を継続してきた結果、生徒さんは増え、オンライン教室も増設しました。現在では教室3校、オンライン教室1校の生徒さんと共に、楽しく書に向き合っております。

私がかねて組で大切にしていることは、生徒さんとのコミュニケーションです。もともと「子どもの居場所になるような場をつくらせてあげたい」との思いで始めた教室なので、お稽古中に生徒さんとたくさん会話をします。会話があるからこそ、生徒さん・保護者様との間に信頼関係が生まれ、楽しみながらも「やるときはやる」「目標に向かって取り組む」ができるようになる生徒さんが増えていきます。そんな生徒さんたちが、ここ数年で実績を出しております。全日本書初め大覧展でオンライン教室の生徒さんが日本武道館奨励賞を受賞、ほかの教室では江戸川区特待生に2名が選抜されました。また、子ども書道パフォーマンスチームとして、公募ZEN展でパフォーマンス賞を受賞するなど、受賞者が増えたおかげでほかの生徒さんも刺激を受けております。また、ショッピングモールでのお正月パフォーマンスやイベントでもパフォーマンスをさせていただき、子どもたちの表現・感性や職業観に繋がるような経験ができています。かなで組の特徴であると感じております。

書道教室かなで組 北村 多加

※書塾に連絡したい方は事務局へお問い合わせください。



書道に出会って

広島県熊野町立熊野第二小学校六年 林 諒

僕は、兄が書道を習っていたことをきっかけに、小学校一年生の時に書道教室に通い始めました。お稽古を続ける中で、納得のいく字が書けずに泣いてしまうこともありましたが、お稽古では、先生に「もっといい字が書けるよ」と何回もご指導いただきながら、くり返し書きます。先生からの「ラスト一枚書いてみよう」という課題に何回も取り組んで、合格をもらった時は自然に声が出てしまうくらいうれしいです。最初は涙が出ることも多かったですが、先生の熱心な指導に食らいついていくうちに、習字が楽しくなってきました。また書道の時間を通して、集中力と忍耐力が付き、心も成長できたと思います。

書道を習っていて良かったことは、日頃の字が習う前よりずいぶんきれいになったことです。夏休みの課題を学校みんなに見せた時、「すごいね」とほめてくれたのがとてもうれしかったです。そしてコンクールで大きい賞を取れた時は家族が喜んでくれて、もっと頑張ろうと思いました。

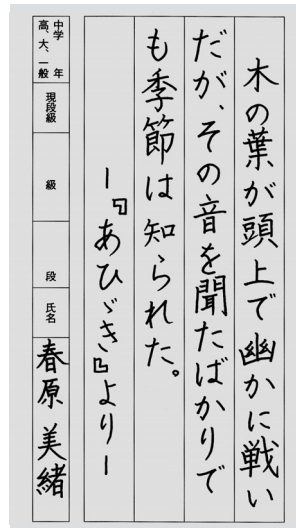
四年生の時、全日本書初め大覧覧会で審査委員長奨励賞を受賞することができました。日本武道館での表彰式に参加した時はとても喜んでいましたが、また良い字を書いて大きい大会で表彰されたいと思いました。

僕が今頑張っていることは、字の太さのちがいを意識することです。時々、字の太さが同じになってしまったりしてバランスが悪くなる時があります。そのため、手本に悪かったところを書き込み、いつも意識して書けるようにしていきたいです。これからは精いっぱい書き続けて悔いのない残りの小学校生活になるよう頑張ります。

※今月号の「まんが しゅうじ君のことわざ・熟語ランド」は都合により休載いたします。

私と書写書道 第259回

書道教室での成長と楽しみ



中央大学二年 春原 美緒

私は、小学校一年生から書道教室に通っています。友達に教えてもらったことがきっかけで、最初は友達と同じ教室に通いたいという思いから通い始めた書道教室でしたが、だんだん字を上手に書きたいという思いに変わっていきました。それに加えて、毎週もらえるお菓子や、年末にももらえる筆や墨汁などのプレゼントもひそかな楽しみでした。

小学生の時には、普段の書道の練習のほかに、夏休みの書道の課題や書き初めの予習なども教室で取り組ませてもらいました。たくさん練習して、学校で金賞をもらった時はとても嬉しかったです。

中学生になると、楷書だけでなく行書も書くようになりました。最初は書き方が全くわからなかったけれど、行書ならではの書き順などを実際に隣で書きながら教えてもらったので、苦手意識を持つことなく書くことができました。

先生は字の悪いところを指摘するだけではなく、良いところは褒めてくれるので、自分の字の良さを伸ばすことができました。私が長く続けられたのは、先生の教え方と褒め方にあると思います。

書道教室ではたくさんの方達をつくる事ができて、楽しく学ぶことができました。これからも多くの書体に挑戦して、字を書くことを楽しみたいと思います。